

■一般目標 (GIO)

高齡者の健康状態に合わせた口腔健康管理を行うために必要な口腔衛生及び口腔機能管理計画を立案し、健康維持・増進のためのプログラムを考察する。

■到達目標 (SBOs)

- ・高齡者を取り巻く社会環境について述べられる。
- ・高齡者の口腔保健に関する現状を検証できる。
- ・高齡者の口腔健康管理について歯科衛生過程に関連づけられる。
- ・周術期の口腔管理について説明できる。
- ・周術期口腔管理を必要とする疾患を説明できる。
- ・人工呼吸器関連肺炎 (VAP) について説明できる。
- ・周術期口腔管理における歯科衛生士の役割について述べられる。
- ・周術期の口腔管理について歯科衛生過程に関連づけられる。
- ・多職種連携を図るためにディスカッションに参加できる。
- ・グループ内での役割を把握し、グループメンバーに配慮できる。

■教科書：最新歯科衛生士教本 高齡者歯科 第2版(医歯薬出版)

■参考書：歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版(医歯薬出版)

歯科衛生士講座 高齡者歯科学 第3版(医歯薬出版)

■授業時間：水曜日 9：00～11：50 (1) 13:00～16:50 (2)

■オフィスアワー：中澤 広美 (nakazawa.hiromi@nihon-u.ac.jp)

月曜日～金曜日 9：00～17:00

■授業の方法：講義：教科書とレジュメ，プロジェクターを利用  
グループワークやグループディスカッション：積極的な意見が述べられるように、各自準備学習を行う。

■準備学習・ 事前に教科書を読み講義内容を予習しておくこと。

準備学習時間：復習は教科書，プリントを合わせ，理解を深めること。

授業後は振り返りを行い，自己学習に活かすこと。

■成績評価方法：小テスト5回(100%)を総合評価

■注意事項：講義内容ノートを作成し，自身で学び直せるようにすること。

■実務経験：田中孝佳：当院口腔外科での臨床経験等の話も交えながら、本教科で学ぶ内容の理論や手技と基礎医学がいかに関連しているのか学ぶ場を提供したいと考えている。(口腔外科Ⅰ)

中澤 広美：大学病院，総合病院，高齡者福祉施設、児童福祉施設での勤務経験を基に，社会のニーズを取り入れた学べる場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2・3 (1) 第4・5・6 (2) 10月1日 中澤 広美	高齢者の生活機能評価と口腔健康管理 I・II	<ul style="list-style-type: none"> <li>他学年に指導するためのプレゼンテーションの準備ができる。</li> <li>他学年に教授できる。</li> </ul>
第7・8・9 (1) 10月8日 中澤 広美	IPE (多職連携教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔健康管理について多職種学生と症例検討ができる。</li> <li>歯科衛生士の業務が説明できる。</li> <li>グループワークをしている他学年のスーパーバイザーができる。</li> <li>グループワークをした他学年の客観的に評価ができる。</li> </ul>
第10・11回 (1) 10月22日 第12・13・14 (1) 10月29日 第15・16・17 (1) 11月12日 第18・19・20 (1) 11月19日 第21・22・23 (1) 11月26日 中澤 広美	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の口腔と全身について、および保健福祉、各関連分野に関する知識を再確認し、説明できる。</li> <li>高齢者歯科における歯科衛生士の役割を説明できる。</li> </ul>
第24・25回 12月3日 6. 7限 田中 孝佳	周術期の口腔管理における歯科衛生士の役割 I, II	<ul style="list-style-type: none"> <li>E BMに基づく口腔機能管理に必要な顎口腔領域の基礎知識について学ぶ。</li> <li>口腔細菌の特徴について学ぶ。</li> </ul>
第26・27回 12月10日 6. 7限界 田中 孝佳	周術期の口腔管理における歯科衛生士の役割 III, IV	<ul style="list-style-type: none"> <li>周術期口腔管理を必要とする疾患や誤嚥性肺炎について学ぶ。</li> <li>人工呼吸器における肺炎 (V A P) 予防について学ぶ。</li> </ul>
第28回 12月17日 2限 田中 孝佳	周術期の口腔管理における歯科衛生士の役割 V	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭頸部領域の放射線および化学療法の影響について学ぶ。</li> <li>周術期の口腔管理の実際と歯科衛生士の役割について学ぶ。</li> </ul>